

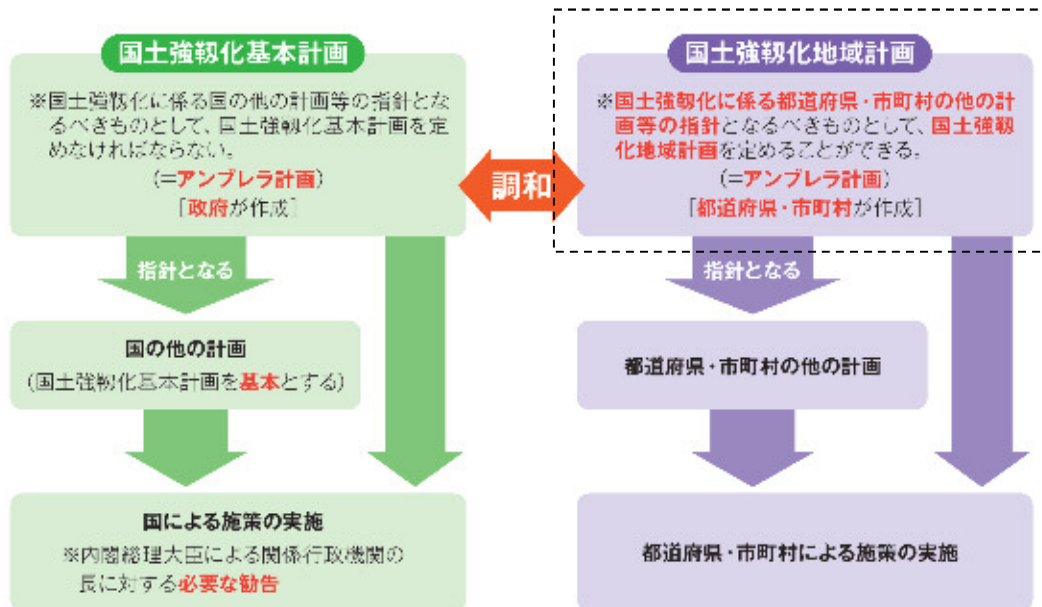
「北九州市国土強靱化地域計画・素案」について

1 国土強靱化について

国土強靱化については、平成25年12月施行の「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法（以下「基本法」。）」に基づき、「今すぐにでも発生し得る大規模自然災害に備えて早急に事前防災及び減災に係る施策を進めるためには、大規模自然災害等に対する脆弱性を評価し、優先順位を定め、事前に的確な施策を実施して大規模自然災害等に強い国土及び地域を作るとともに、自らの生命及び生活を守ることができるよう地域住民の力を向上させる」（基本法前文より）ものである。

地震や洪水などの「リスク」を特定し、「そのリスクへの対応」をまとめる「防災」に対して、国土強靱化は、あらゆるリスクを見据えつつ、どんなことが起ころうとも最悪な事態に陥ることが避けられるような「強靱」な行政機能や地域社会、地域経済を事前につくりあげていこうとするもの。

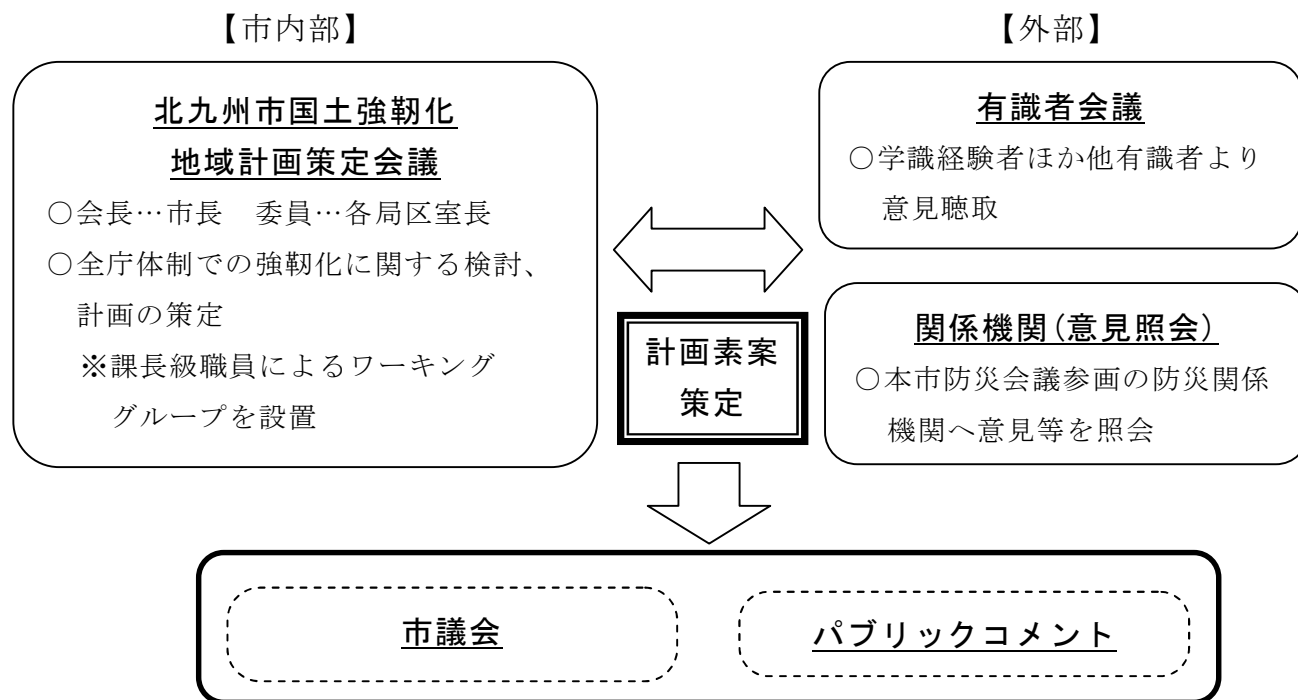
○国土強靱化基本計画、地域計画



※策定状況（H29.9.1現在）

- ・都道府県…策定済：43都道府県（福岡県 H28.3月）、策定中…4府県
- ・政令市…策定済：9市（札幌市、川崎市、新潟市、名古屋市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市）  
策定中：4市（千葉市、横浜市、京都市、北九州市）

## 2 策定体制について



## 3 これまでの経過

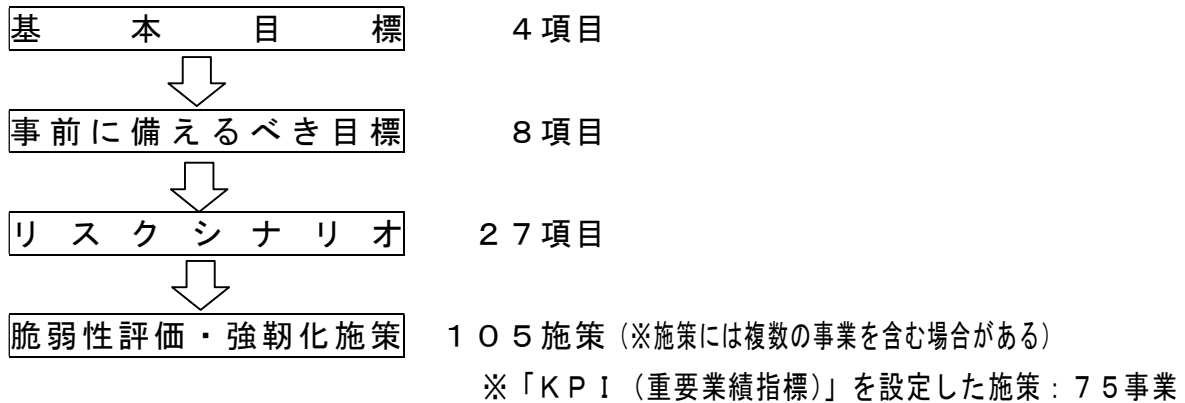
- 平成28年11月 ・第1回策定会議
- 平成29年 3月 ・第1回ワーキンググループ
- 6月 ・第2回ワーキンググループ
- 平成29年 7月 ・第2回策定会議（「北九州市国土強靱化地域計画・庁内案」とりまとめ）
  - ・「北九州市国土強靱化有識者会議」の開催
  - ・関係機関への意見照会

## 4 「素案」作成の経過・概要

### (1) 経過

- ・ 国の国土強靱化基本計画、福岡県地域強靱化計画を参考にしながら、北九州市地域防災計画・第2章「災害予防計画」での取り組みを中心に、その進捗状況や課題を整理し、現状の評価（脆弱性評価）を行った。
- ・ この評価をもとに、今後の取り組みについての「施策の推進方針」を検討し、「市地域計画・庁内案」としてとりまとめた。
- ・ この「市地域計画・庁内案」について、学識経験者らによる「有識者会議」、及び防災関係機関への照会により意見を聴取し、意見を踏まえて「庁内案」に修正を加え、「市地域計画・素案」を作成したものの。

(2) 概要 《8～19ページ》



## 5 本市独自の内容

- 市民に直接接する基礎自治体として「市民の災害に関する認識が十分でないことに起因する死傷者の発生」をリスクのひとつとし、「みんな de Bousai まちづくり推進事業」などの施策に取り組む。
- 平尾台地区の火災や水害などの過去の災害を教訓として、「平尾台防火帯設置事業」や「北九州市小倉都心部浸水対策推進プラン」などに取り組む。

## 6 新たな取り組み(主なもの)

(1) 1-1 市民の災害に関する認識が十分でないことに起因する死傷者の発生

- 市民に対する防災知識等の普及 《22・23ページ》
  - ・家庭や企業等での備蓄を促進するため、備蓄の考え方や品目、数量などの目安をとりまとめ周知する。

(2) 2-2 消防等の被災等による救助・救急活動の絶対的不足

- 消防団の充実強化 《64・65ページ》
  - ・消防団へ多様な市民が参加しやすい環境づくりの一環として、特定の活動に従事する機能別団員制度の導入について検討し消防団の増員と機能強化を図る。

(3) 2-3 大量かつ長期の帰宅困難者の発生

- 企業における帰宅困難者対策 《68・69ページ》
  - ・帰宅困難者対策に関するガイドラインや備蓄に関する計画を策定する。
- 市街地再開発事業 《68・69ページ》
  - ・小倉駅南口東地区市街地再開発事業において、駅前滞在者の一時的受け入れ機能の整備を目指す。

(4) **5-1 企業の生産力低下や経済活動の機能保全**

○企業の事業継続性の確保 《90・91ページ》

- ・企業の事業継続性の確保に向けた福岡県の取り組みの活用や、商工会議所・北九州市防災協会等と連携した取り組みを検討、実施する。

(5) **8-1 災害廃棄物の処理停滞による復旧・復興の大幅な遅れ**

○災害廃棄物処理体制の整備 《118・119ページ》

- ・「災害廃棄物処理計画」を策定するとともに、災害廃棄物の仮置き場としてのオープンスペースの活用について調整を行う。

(6) **8-2 復旧・復興を担う人材不足による復旧・復興の大幅な遅れ**

○ボランティア関係団体との連携強化 《124・125ページ》

- ・北九州市社会福祉協議会と協同し、災害ボランティアセンターの設置・運営等の訓練や防災に関する取組みを実施する。

(7) **8-3 地域コミュニティの崩壊等による復旧・復興の大幅な遅れ**

○市民相談・問い合わせ対応体制の整備 《128・129ページ》

- ・あらゆる相談に一括して対応できる窓口の設置に向けた体制の整備を図る。

## **7 今後の予定**

(1) パブリックコメント … 10月2日(月)～10月31日(火)

(2) 第3回北九州市国土強靱化ワーキンググループ … 11月中旬

(3) 第3回北九州市国土強靱化策定会議 … 11月下旬 ⇒ **計画策定**